



議会だより



ほくも
はやくがわって

日南小学校5年生の米作り体験
9月28日

おもな内容

使い道を徹底検証(29年度決算).....	4
町政のここが聞きたい(4人が登壇)...	14
鳥銀生山支店存続を要望.....	20
どっこい、この町に生きる.....	24

7月豪雨の災害復旧費 など補正予算を可決



改修された研修棟トイレ



授業で活用する研修棟（新山）

日南町立林業アカデミー
の設置及び管理に関する条
例の制定

議決したおもなもの

7月5日から8日にかけて、日南町内でも多いところで400ミリを越す豪雨に
みまわれ、道路や農業用施設などにたくさんの被害ができました。
激甚災害の指定を受けて、早期の復旧に向けて補正予算を可決しました。

7月豪雨による災害復旧事業



9か所
4350万円



61か所
1億2920万円



10か所
1億3061万円



25件
1億4875万円

日南町議会の9月定例会は、9月6日から28日までの23日間の会期で開かれ、一般質問には4名の議員が登壇し、執行部の所信を問いました。執行部から提案された条例の制定と一部改正、補正予算、平成29年度の決算認定など全議案が原案通り可決成立しました。決算審査の状況については「決算審査特別委員会」の審査報告を載せていますのでご覧ください。また、鳥取銀行に対し生山支店移転の見直しを求める要望書を議決し提出しました。

もつとわしく 質疑応答

日南町立林業アカデミーの
設置及び管理

問 定めてあるアカデミー
演習林は日南環境林全てか。
答 日南環境林全てが演習
林になる。

問 アカデミーの施設に演
習林を上げなくても良いの
では。
答 日本一の演習林（668
ha）を有しているとPRも
兼ねたい。

問 日南町産業振興セン
ターは業務委託なのか、指
定管理なのか。
答 施設については、指定
管理で自主的に使って欲し
い。演習林は日南町の町有
林なり環境林になるため、
申請をして使っていたら可
い。

日南町税条例の一部改正

個人町民税の税額控除
の対象となる寄付金に特定
非営利活動法人「十人十
色」に対する寄付金を加え
る。

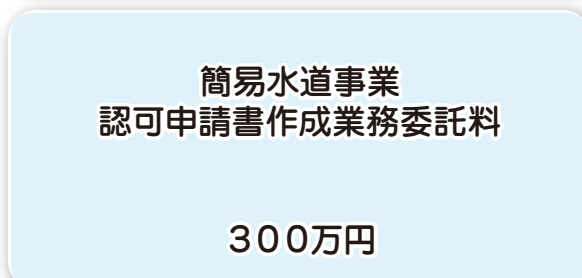
おもな補正予算



157万円



130万円



300万円



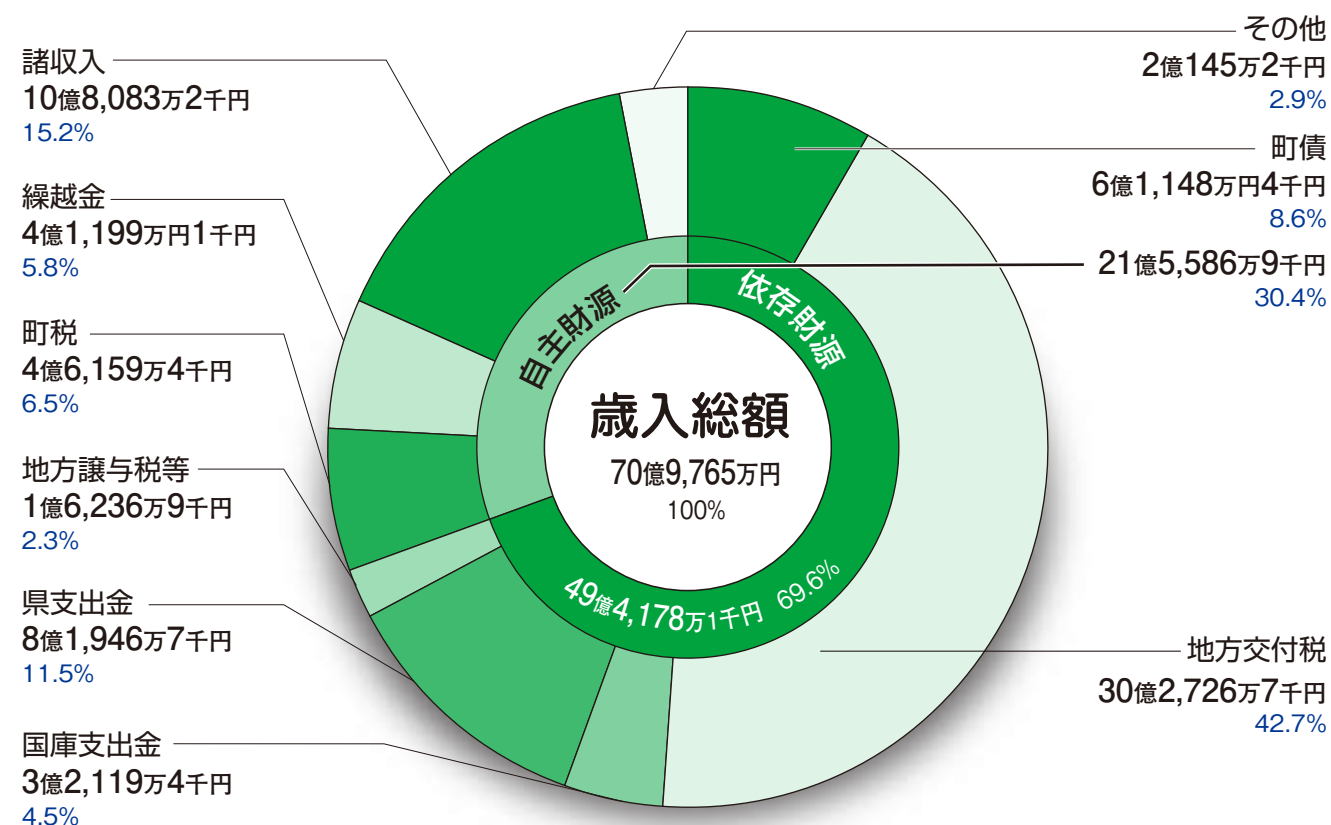
500万円

平成29年度

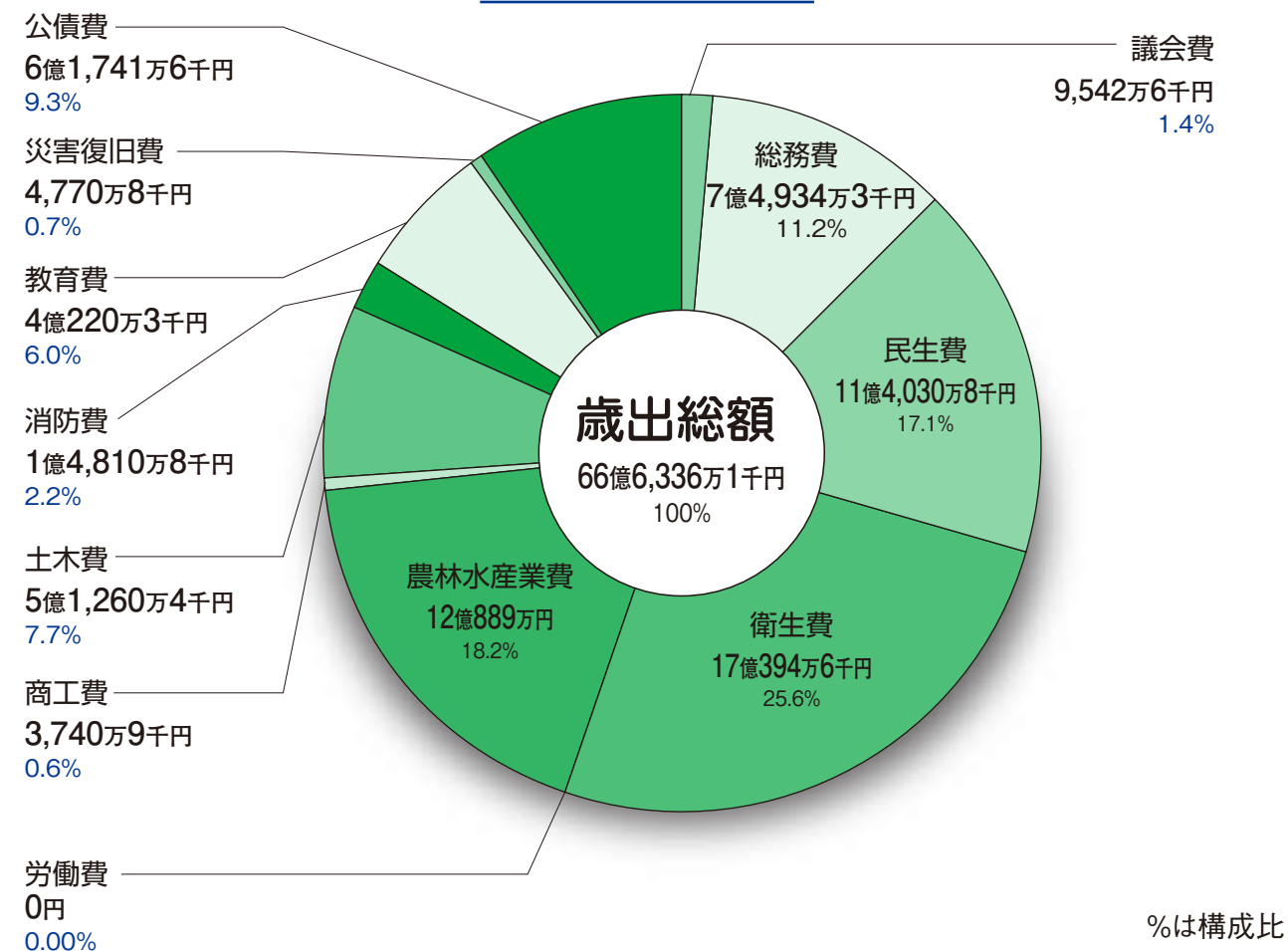
決算認定議案を可決

9月定例会に提案された、平成29年度の普通会計などの決算認定議案は、各会計ごとに賛否が分かれていましたが、全議案が認定可決されました。（9ページ参照）

普通会計歳入



普通会計歳出



各会計の決算状況

会計別	決算		差引残額
	収入済額	支出済額	
普通会計	70億9,765万円	66億6,336万1千円	4億3,428万9千円
国民健康保険特別会計	7億1,942万2千円	7億1,931万9千円	10万3千円
簡易水道事業特別会計	3億7,900万3千円	3億7,884万8千円	15万5千円
農業集落排水事業特別会計	2億5,094万2千円	2億4,373万円	721万2千円
介護保険特別会計	10億1,678万9千円	9億6,944万1千円	4,734万8千円
介護サービス事業特別会計	1億2,496万2千円	1億2,496万2千円	0円
後期高齢者医療特別会計	9,046万8千円	9,046万4千円	4千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	122万7千円	122万7千円	0円
合計	96億8,046万3千円	91億9,135万2千円	4億8,911万1千円

一般会計と普通会計の違いとは？

通常、日南町の「一般会計」で予算化しているものは、決算もその内容で整理します。一方で、地方公共団体の決算状況をより具体的に分析するために、全国統一のルールを用いて整理する会計区分を「普通会計」と言い、そのルールに従って整理します。

具体的には、平成29年度の総額は病院補助金292万8千円の繰出を除外したものになっています。

日南町病院事業決算状況（平成30年3月31日現在）

収益的収支 (税抜き後)	総収益	10億7,999万6千円	借金(企業債残高)	6億4,666万8千円
	総費用	10億8,500万6千円	当年度純損益	△501万円
	純損失	501万円		

決算審査意見

平成29年度歳入歳出決算の監査委員意見(要旨)は、次のとおりです。

代表監査委員 藤森 高善
監査委員 近藤 仁志

1. 未収金の徴収について

一般会計及び特別会計の未収金の総額は48,006千円となり、今年度の不納欠損処分額などを計算に入れると、実質的には未収金が2,073千円増加していることとなる。また、前年度にはなかった水道施設負担金と下水道分担金に新たな未収金の発生も見られる。

「催告強化月間」を設定し、集中的に滞納整理を行う手法や、徴収困難案件については弁護士など外部の専門家の活用なども検討され、未収金の解消に取り組んでいたきたい。

2. 生山定住促進団地について

8区画の生山定住促進団地は、4区画の契約者があり、それぞれの家が新築されているが、4区画は未だ

契約に至っていない。

安価な借地料を経て最終的には宅地が取得できることなど、非常に有利な助成事業であるが、その魅力が町民やIJUターン希望者に十分に伝わっていないのではなからうか。東京や大阪での移住相談会などでの情報発信を心がけ、早期に住宅が建設されて賑わいのあるまちづくりに貢献するようにしていただきたい。

3. 新石見小水力発電所について

平成28年1月に大雪により水が溢れ出し水路が損壊、その災害復旧工事や水路更新に2年も時間を費やし稼働が大幅に遅れている。売電収入が年間23,000千円見込まれ、本体工事費が260,000千円と復旧工事に104,000千円という大きな投資を考えれ

ば、一刻も早い稼働が求められる。

4. 会計事務処理の徹底について

平成29年度も浄化槽の法定検査料、農業集落排水処理施設設備修繕料、林道管理委託料などの単純な支払遅延、農業後継者育成対策事業においては振込処理の遅延などが発生し、施工業者並びに町民の方々に多大な迷惑をかけると同時に、行政に対しての信用失墜につながりかねない事案が発生している。

再発防止策を講じるよう求める。

5. 繰越明許費の扱いについて

簡易水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計において、平成28年度繰越明許された公営企業会計システム整備委託料(各会計5,000千円)が、この度の決算において全額が不用額となっている。繰越明許費は例外的に許された支出であること、次年度に必ず執行すべき予算であることを今一度確認されたい。

(単位:千円)

未収金及び不納欠損の状況		H29年度 不納欠損額	H29年度 未収金額	H28年度 未収金額
一般会計	町税(町民・固定・軽自)	985	14,825	14,225
	社会福祉費負担金	0	136	139
	児童福祉費負担金(保育料)	513	43	561
	総務管理費使用料	0	0	2,416
	住宅使用料	0	4,807	4,647
	定住促進施設使用料	0	18	37
	住宅新築資金等貸付金	0	10,768	10,888
	雑入	0	542	646
	合計	1,498	31,139	33,559
	国民健康保険税	321	10,478	10,233
特別会計	水道料金・負担金	0	2,896	3,097
	下水道料金・分担金	0	2,206	1,928
	介護保険料	812	865	1,735
	介護サービス(自己負担・施設使用料)	0	565	565
	後期高齢者医療保険料	0	△ 143	△ 137
	合計	1,133	16,867	17,421
病院事業会計(患者負担金)		0	7,893	8,080
総合計		2,631	55,899	59,060

※督促手数料は除く

平成29年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

比率名	比率の内容	判定
実質赤字比率	一般会計の赤字の程度を指標化し、財源の規模と比較して指標化	黒字で良好
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、財源の規模と比較して指標化	
実質公債費比率	借入金の返済額を指標化し、標準財政規模と比較指標化(25%以下)	8.6%で良好
将来負担比率	借入金残高や将来支払うべき負担等を指標化した、財政の圧迫度	マイナスで良好
資金不足比率	公営企業の資金不足と、料金収入と比較して指標化	資金不足なし

日南町の財政は黒字経営であり、将来負担額に対して充当可能財源が上回っているため、借入金の返済も将来財政を圧迫する可能性は低いということになります。

今年度病院事業経営安定確保の為、地域医療総合確保基金を新設。繰越利益剰余金の約50% 8億円を積み立てました。

決算審査特別委員会の審査報告

平成29年度一般会計をはじめ各会計の審査をするために設置しました。(議員全員で構成、委員長・山本芳昭、副委員長・坪倉勝幸)

9月10日から20日までの間で詳細な審査を行い、その結果、いずれの決算議案も次の意見を付して認定すべきと決定しました。

1. 主要施策の成果及び財産に関する調査

さらにわかりやすく

例年に比べ詳細に記載され工夫されているが、更なる充実を求める。

2. 文書管理事務の効率化を

公文書、事務資料などの書類が、事務机の上や周辺に積み重ねられている。ファイリングシステムを今一度認識され、文書の管理や事務の効率化を図り、住民サービスの向上に繋げよ。

3. 観光振興対策事業(旧木下家活用事業)

もつと有効活用を

観光協会や地元と協議され具体的な活用方針を決定し、交流人口の増加に繋げよう有効活用せよ。

4. 障がい者グループホーム設置にかかる改修事業打ち合わせを十分に

平成29年4月に設計監理業務を発注したが、5月に運営予定のNPO法人から運営困難の申し出により改修工事は中止となった。予算を無駄にしないよう、事業者の事業計画を精査したうえで事業を進めよ。

5. 農業後継者育成対策事業(一般財団法人エナジーにちなんへの委託事業)に適切な指導を

研修内容を充実するとされていたが、十分な成果に繋がっていない。

また、エナジーにちなんへの委託料が支出した経費を上回っている。経理について適切に指導せよ。本年3月に農業研修生の重大な交通事故が発生した。

6. 山村振興一般対策事務(指定管理者の事業報告書未提出)徹底した指導監督を

エナジーにちなんの研修生の労務管理や就業規則が遵守されていないことも要因の一つと考える。再発防止のため指導を徹底せよ。

7. 町有林事業長期的な経営計画を

町有林において収益性の原則(収益性の追求)や保続性の原則(恒久的に毎年連続して収入を得る事の出

8. 簡易水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計適正な使用料の検討を

来る法正林経営)を求めることは重要であるが実際の収支は厳しいのが現状である。分収造林のあり方など長期的な町有林全体の経営計画を再検討せよ。

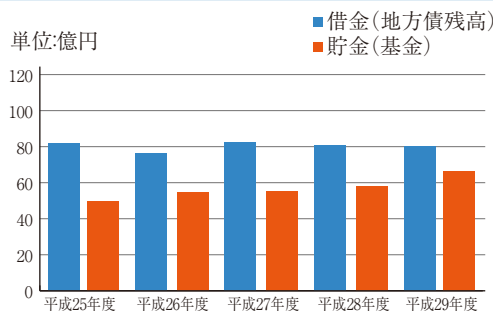
両特別会計とも一定のルールに基づいて一般会計から繰り入れをしているが、今後も施設の老朽化に伴う建設改良費や管理経費の増加など収支が厳しくなることが予想される。

一般会計からの繰り入れをしながらも特別会計の趣旨を踏まえて、適正な使用料について検討すべき。

日南町の借金・貯金はどれだけある?

平成29年度末の日南町の借金は、80億3,655万円あります。(一般会計、特別会計の合計額。ただし、病院事業会計は除く)貯金(基金)は、66億4,696万円あります。町民1人あたりで計算すると、借金は1,710,996円で、貯金は1,415,150円となります。

(人口は平成30年3月31日現在4,697人)



9月定例会審議結果

○可決・認定した議案

平成30年度補正予算	平成29年度決算認定
一般会計補正予算(第6号)	一般会計※【賛否の分かれたもの】
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	国民健康保険特別会計
簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	簡易水道事業特別会計
介護保険特別会計補正予算(第2号)	農業集落排水事業特別会計
一般会計補正予算(第7号)	介護保険特別会計※【賛否の分かれたもの】
条例の一部改正	介護サービス事業特別会計※【賛否の分かれたもの】
日南町税条例	後期高齢者医療特別会計※【賛否の分かれたもの】
条例の制定	再生可能エネルギー発電事業特別会計
日南町立林業アカデミーの設置及び管理に関する条例の制定	病院事業会計
発議	
鳥取銀行生山支店移転の見直しを求める要望書提出について	

平成29年度決算認定の賛否内訳

件名	結果	(欠員)	山本芳昭	坪倉勝幸	荒木博	近藤仁志	恵比奈礼子	久代安敏	大西保	足羽覚	古都勝人	福田稔	村上正広
一般会計	認定	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
介護保険特別会計	認定	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
介護サービス事業特別会計	認定	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
後期高齢者医療特別会計	認定	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

平成29年度 決算認定 討 論

一般会計

反対 久代安敏議員

約60億円の基金全体の使い方をもっと町民の福祉のために使っていく事を本気で考えるべきである。同和地区は法的な根拠はない。人権問題や菅ヶ谷ブロイラー問題をきちっと整理され改めて、基本的人権を議論すべきである。

賛成 坪倉勝幸議員

29年度に於いて全体的に計画をした予算で円滑に執行されている。同和対策は、旧地域改善対策特別措置法で財政支援が行われ、菅ヶ谷ブロイラーも、当時の法律に基づき執行。部落差別を始めあらゆる人権に対し対策を取る事は当然である。

介護保険特別会計

反対 久代安敏議員

介護保険制度あって介護なしと言う事が現実の問題となっている。介護保険の見直しの度に保険料が上がっている。総合支援事業の中で、ホームヘルプサービスの要望が高いが、昨年は目標が達成されていなかった。

賛成 荒木博議員

第6期介護保険事業計画に基づき施行され、保険料も県内で低い水準である。法改正で特養の入居者規制があるが、安定して持続するために必要な法改正である。介護予防の推進や日常生活支援・健康増進に努められている。

介護サービス事業特別会計

反対 久代安敏議員

3年連続起債償還を繰り延べしている。福祉社会に建設費の1/3を負担させる自体が問題ではないか。福祉社会の福利厚生とか賃金等の待遇改善やその他もろもろの施策を実行して貰うためにも負担金の見直しをすべきである。

賛成 足羽覚議員

福祉社会の29年度の決算が約750万円の赤字になるため、起債償還の負担を28年度同様免除された。また、全員協議会で特別地域加算の介護報酬など介護保険制度の見直しを国に提出するなど更なる検討も進めている。

後期高齢者医療特別会計

反対 久代安敏議員

日本だけが後期高齢者を区別した保険制度を作った。後期高齢者の増加により、将来保険料の値上げや検診の内容に問題がある。年齢によって保険証を区別する制度は廃止すべき。

賛成 大西保議員

平成20年度から保険制度が大きく変わった。後期高齢者の言葉を良い方面に取るべき。日南町は検診や高齢者向けの健康増進など色々な取り組みをされており、評価している。

もつとくわしく 質疑応答

障がい者グループホーム設置の改修事業

無駄になった設計費用

問 障がい者グループホーム設置にあたり、たんぼの家を活用を中止した経過説明を。

答 29年4月に設計発注し、7月が工期。5月下旬にNPO法人が安定的な運営の為に合併をしたいと申し出があり、設計は完了したが監理は中止にした。

問 下準備の打ち合わせが出来ていたか。

答 29年度予算編成の時から協議を重ねていたが、詰めが十分でなかった。

問 無駄になった102万円の設計料の責任はどこか。

答 協議を尽くしていたが、結果、十分把握出来ていなかった。事業者の責任でなく担当課の責任。

問 利活用もなく責任も取らない。行政の責任は。

答 協議をした。



利活用が待たれる「たんぼの家」(山上)

観光振興対策事業

旧木下家をどう活かすか

問 古民家を中心としたツアープログラム開発と外国人の農泊等の成果があるか。

答 観光メニューづくりは、ホテル、農泊、エコツーリズムに力を入れている。また、外国人も2回稲刈りなどの農業体験をしている。エコツーリズムとしてオオサンショウウオ、ホテル、化石、星空など進んでいる。

問 旧木下家を農泊として使うか。今後の活用方針は。

答 町と観光協会で模索中。民泊も検討中。オークションも5回行ったが、今年度中に方針を出す。

問 ハード面よりソフト面(誰が何をするのか)や家財家具等の動産管理も重要。オークション収益からの木下家への謝礼となる根拠は。

答 オークションで160万円を超える収入があり、古物商と相談して謝礼の金額を決めた。

問 返しても所有者で管理が出来ないため、継続して分収契約している。林道は7月に手直しをしている。

問 皆伐をした時は分収造林をやめるべきでは。

答 民間の分収造林は今後大きい問題となる。新法律では、管理されない森林は町が管理しろとある。今後分収林の在り方も議論する。

簡易水道統合整備

今後の使用料

問 今後施設統合が可能な地域はどこか。使用料の見直しについて説明を。

答 現在は日野上、生山の統合を進めている。井戸の能力低下もあり、隣接した施設と連絡し機能強化を図る。たとえば福栄の白谷・高代間、石見の神戸上・上石見・中石見・下石見間を繋げば評価になる。

使用料は町長が在任中は上げない方針。来年消費税アップと公会計により、収支計算が明確となるので検討する。



収益の増加が求められる分収造林



歴史を感じさせる旧木下家の客間

問 あんどんを200万かけて何個作られ販売したか。農泊は、地域の協力体制や準備が大変だが、阿毘緑のむら協等に地元食材確保の話し合いが出来ているか。

答 地域への説明が出来ていない。農泊は今年度方針を出す。あんどんは農林課との連携でユルキヤラ等を含め作った。29年度に展示販売をした。

町造林事業

利益がでない

問 皆伐して再造林するが、補助金の範囲内で管理できるか。

答 国の補助金の上限は8割なので、範囲内ではできない。

鳥獣被害対策事業

5年継続者に支援を

問 煙火保安講習会の手帳更新で町職員は全額助成か。

答 町職員については、新規及び更新は全額公費負担。

問 29年度は新規が6人、更新が76人で、5年経つと継続でも新規扱いになる。助成制度として確立し、支援すべきでは。

問 感覚的に、有害鳥獣の個体が減っていない。捕獲意志にバラつきがあるが。

答 29年度の日野エリアの猪の被害額は、1200万円。385頭捕獲。東部と比較すると被害は減っている。捕獲に関しては指導不足。

問 議論はしている。時間をいただきたい。



効果をあげる捕獲檻

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例会の本会議で審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	平和行進日野郡実行委員会 代表 福岡 正純	我国は唯一の戦争被爆国であり核兵器全廃を目指しているが、核兵器禁止条約は核保有国の参加がなければ実効性がなく核保有国と非保有国との対立を生みかねない。 まずは、日本政府が取り組んできたCTBT（包括的核実験禁止条約）、FMCT（核兵器用核分裂性物質生産禁止条約）を着実に進め、NPT（核拡散防止条約）体制を確立し核兵器のない世界の実現に努力すべきである。	不採択

陳情審査の討論

反対 久代議員

核兵器禁止条約は、昨年国連で採択された。条約は50ヵ国以上が批准すれば発効されるが、現在15ヵ国である。一日でも早い核兵器廃絶を唯一の被爆国である日本政府こそが真っ先に批准、署名すべきと考える。

反対 坪倉議員

日本は世界の先頭に立って、核拡散防止条約で認められている保有国（5ヵ国）も含めて、すべての国が等しく同時に核兵器をなくす努力をしなければならない。国に核兵器禁止条約の批准を進めるように意見書の提出をすべきである。

賛成 荒木議員

核兵器を持たない、使用しない、被爆国である日本の考えである。中国、北朝鮮、ロシアは核保有国であり、日本の安全保障を考えると、米国の核の抑止力に頼ることが現実的である。核保有国を含めてさらに議論をしていくべきと考える。

賛成 足羽議員

核兵器なき世界の実現を目指す国際的な取り組みに日本が参加しないことは、核廃絶を願う被爆者の心情を考えると納得できない。しかし、日本は米国の核の傘に守られている以上、核兵器保有国の様子を見ながら慎重に対応すべきである。

陳情審査の賛否内訳

結果	(欠員)	山本 芳昭	坪倉 勝幸	荒木 博	近藤 仁志	恵比奈礼子	久代 安敏	大西 保	足羽 覚	古都 勝人	福田 稔	村上 正広
不採択	－	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

不納欠損処理

逃げ得は許されない

問 なぜ不納欠損処理が出来るのか。

答 法律に基づいて実施。

問 固定資産税の場合、何年したら不納欠損出来るのか。

答 督促状を送っても時効は止まらない。承認書を書けばそこから、期限が来れば時効になる。また、一部納付があれば、そこから期限が延長される。

問 小学校に通っているのに、なぜ保育料の不納欠損が発生するのか。直接滞納者に伝えるべき。

答 未収金徴収会議を年4回実施している。催告の電話や、見かけた時には配慮して声かけをしている。

問 不納欠損の決定は時効が来ればいいのか。

答 税は住民課、介護保険は福祉保健課と協議、保育料は保育園が不納欠損を決めるなど、随時担当課と協議している。

問 徴収の強制力を持った行為と不公平感のない対応を。

答 不公平感を生まないために同一の対応が必要。不納欠損の仕組みは、年限が来たら平等に行う。

問 経過年数が来れば時効になる。町財政に支障が出るのでは。また、差押えも検討すべき。

答 逃げ得は許されない。納税義務を履行しない方は、補助金や行政サービスが受けない。今は差押えをする状況でないと判断する。

お出かけタクシー助成
地域の不公平感解消を

問 1年経過して、どのように分析され、31年度に生かされるのか。

答 29年度タクシー助成の利用をまとめ中。病院、パセオなどの利用が多い。地域での不公平感の意見もあり、来年度に向け、交通対策協議会で検討する。

問 3ヶ月に一度会議を開催すると聞くが、報告を早くできないか。

答 資料を出す。この事業でタクシー利用が増えており需要と供給のバランス等の課題を会議で話している。

教職員の多忙感解消
人的配置で残業の軽減を

問 教職員の多忙感解消が社会的な問題になっている。県の新しい給与システムの内容と成果は。

答 出退勤をパソコンで記録。併せて部活の試合等の時間外や家に持ち帰りの仕事も記録に残す。残業80時間以上の職員もおられ、実態がつかめるようになった。

問 負担軽減の有効的な対策として、人的配置等についてのか。

答 中学校の部活動の時間外が多い実態があるが、外部講師は配置出来ていない。把握をしながら人的配置等は今後検討する。

問 人の配置がなければ残業は減らない。残業80時間以上の人数と実態をどのようにに共有されているのか。外部のクラブ指導員の配置を検討できないか。

答 30年度より中学校の部活動は土日のいずれかは休む。平日も1日は休む。学校用務員を1人配置した。残業80時間以上は中学校で1人。小学校はない。研修会で働き方改革を研修している。

問 働き方改革は一方的であり、部活等の子ども意見はどうなのか。いじめ関係で学校と家庭のつなぎ役の担当者の対応は。

答 子ども達の実力の向上も考えている。家庭教育推進員は現場で連携を図る。



部活動を指導する教員

町政のここが聞きたい



大西 保議員

問 外国人材の受け入れ目標は

答 4～5人程度で新年度以降に

問 受け入れの目標は
人員とスケジュールはいつ頃なのか。

答 町長
当初は介護職でなく一般就労で

答 町長
事業所が求める人材と「技能実習」での受け入れが乖離していることが課題と考えている。
今後、事業所に対しては、受入希望・職種を把握すること併せて「外国人材を受け入れること」への理解を深める取組を進めるとともに、国の動向を注視しながら、事業所に対する町の支援策を検討して、外国人材の受入促進を図りたい。

問 重要な課題点は何か
どのように解決を図っていくのか。

答 町長
外国人材技能実習生の受け入れを行うための調査事業であるが、現時点での進捗状況は。
答 増原町長
技能実習による外国人材の受け入れについて、町内事業所と商工会や受入団体と意見交換を行い、それらの状況を踏まえて最適な方法を検討しているところである。

問 外国人材交流派遣事業

問 セントラルファーム農場の排水問題
「河川の水質悪化などに関する意見交換会」が、問題発生した年から年2～3回開催されていたが、昨年8月以来1年間も開催されていないのはなぜか。



日本語学級へ送る辞書

答 町長
辞書は、フェイスブックで呼びかけ30冊以上集まっている。消防車は県が行っている国際貨客船で中国かロシアに送り、取りに来てもらえるかの検討をしたい。
問 交流の取り組みは
ゾーンモド町との交流の一環で、日本語辞書と中古の消防自動車を送る件は、どうなっているのか。

答 町長
施設更新では、衛生管理の強化を図られ、飼育頭数を増やさないことから、浄化施設の更新計画はないと聞いている。

問 浄化設備の更新は
施設更新を計画されているが、浄化設備関連の更新はされるのか。

答 町長
研究に進展があれば、適切な方法での情報発信を行う。

問 報告会の開催は
鳥取大学農学部による「日野川水系における水質等調査報告会」を開催する予定はあるのか。

答 町長
社長は高齢と病気を理由に来ていない。双方の妥協点を見出して、打診をしてみたい。

問 トップ会談を
協定書締結が進んでいないので、町長と社長とのトップ会談を早期に開催し、解決を図ってはどうか。

答 町長
水質検査の数値も安定しており、協定書締結にも進展がなかったため開催できていなかったが、今月9月3日に開催した。

町政のここが聞きたい

一般質問と答



古都勝人議員

問 安心に暮らせる防災体制を

答 各機関と連携し
防災の町を築く

問 7月始の西日本豪雨の被害は
日南町は、人命被害こそなかったが、各方面で被害があったと聞く。被害状況は。

答 増原町長
現在、島根原発2・3号機の再・新稼働に向けた審査手続きが進められているが、県および30km圏内の周辺自治体は、稼働の可否判断には慎重な姿勢であり、40kmから60kmに位置する当町としてもこれらの動きを注視している。避難計画については、30km圏外の自治体に関する国の考え方が示された後に、具体的に定めていく予定。また、当町は島根県のUPZ・PAZ圏内の住民を受け入れることが想定されている。事故時の対応として西部市町村及び県で、避難訓練、緊急時通信連絡訓練、住民への情報伝達訓練等を実施し、県及び国と協力して必要な助言を受け、放射線に関する正しい知識の普及と啓発を行っている。

問 島根原発への対応策は

答 増原町長
東日本大震災から7年半経ち、いまだ復興の途と聞く。中でも福島原子力発電所事故の対応は全く進まず「安全神話」はどこに行ったのか。事故時の準備は。



準備されている防災グッズ

答 町長
避難所を各地域1箇所、計7箇所に開設したが、雨量が町内各所で差があり、各まち(むら)づくり協議会でも対応状況には差があった。

問 まちづくり協議会対応状況

答 町長
8月末現在で人的被害は0件、農地や林道を中心に災害復旧事業ベースで331件となっている。国・県の災害復旧事業と、町の単独災害復旧支援事業などで復旧を急いでいる。

答 町長
「盆」には木下家の要望により、旧木下家を活用した事業を行っている。なお、8月26日に「第5回になんオークションin旧木下家」を開催した。

問 今年の目玉行事の取り組み

答 町長
観光振興対策事業の進捗は、町の観光事業が約7割、観光協会への委託事業が約6割進んでいるところ。今後も計画的な実行に努める。

問 多額の支援を行った観光事業は

答 町長
「災害時に地域でどのような体制や役割分担で対応するのかなど、活用についての話し合いが充分でなかったなどの反省を改善し今後の地域防災力向上を図っていく。

問 支え愛ネットワーク

答 町長
支え愛ネットワーク構築事業の効果は充分であったか。

町政のここが聞きたい



足羽 覚議員

問 出生者数の目標値は

答 今以上の出生率を目指したい

問 2040年の人口目標値には程遠いのか

平成29年度の転入者数64人は減少が著しい。3,427人は程遠い目標値ではないか。

答 町長

平成28年の合計特殊出生率1.77は県内3番目に高い数値であったが、平成21年から25年の平均値2.55を下回っている。出生率の回復には、社会全体での取り組みが必要であると考えている。

問 合計特殊出生率の復活は

答 増原町長

出生者数を含めた人口の目標は「日南町総合戦略」で示している。厚生労働省によると「人口を維持するのに必要な合計特殊出生率」は、2.07とされている。平成28年の日南町が1.77であったことから、今以上の出生率を目指したい。

問 減少する出生者数

答 町長

日南町の過去3年間の自然動態が平均117人位で減少している。また、出生者数は年間20人を割り込んでいる。保育料の無償化など少子化対策を進めているが、出生者数の目標値は。

問 空き家の管理が難しいのか

空き家バンクに登録された物件で、要望があれば空き家の簡易的な管理が出来ないか。

答 町長

平成29年9月末現在の空き家状況は508件。平成30年8月末現在の空き家バンク登録状況は81件。



減少を続ける幼児数

答 町長

施政方針に示したとおり、このままの推移を続ければ、2040年には2,089人になる見込み。あらゆる施策にスピード感をもつ。

問 関係人口・共生社会の重要性

地域や地域の人々に関わる「関係人口」の増加や住民一人ひとりが支え合う「共生社会」は、超高齢化社会のまちづくりに重要と感ずるが。

答 町長

あらゆる地域課題の解決に向けて、「定住人口」、「交流人口」、「関係人口」それぞれに取り組むとともに、「どなたにも陽があたり安心して日南町に住んでいただくまちづくり」を目指していく。

問 高齢者世帯の増加

答 町長

現在町内で、高齢者単身世帯及び、高齢者夫婦世帯がどの程度あるか。また、後継者づくりは進んでいるか。

問 空き家管理や解体工事などを行う町内業者を活用したくよう啓発していききたい。また、地域で実施されているものもある。

答 町長

空き家管理や解体工事などを行う町内業者を活用したくよう啓発していききたい。また、地域で実施されているものもある。

町政のここが聞きたい

問 豪雨災害の復旧見通しは

答 早期に復旧を計る

問 災害弱者の見回りは

高齢者や障がい者等の声掛けが大事だと感じたが、町の防災マニュアルが生かされたか。

答 町長

今回の豪雨対応も基本的には地域防災計画に基づいて行った。普段から要支援者名簿を管理しており、それらを活用して安否情報の確認に努めた。

問 豪雨災害の復旧は

7月5日～7日の西日本豪雨災害により、日南町も災害救助法が適用されることになった。あらためて被害の全容と復旧の見通しについて報告を求める。

答 増原町長

災害救助法の適用7月6日、激甚災害の指定7月27日、7月豪雨による被害通報 331件
災害申請 113件
被害額 657百万円
(県関係16件 286百万円)
(町関係97件 371百万円)
国の災害査定 9月18日～10月5日。補助金申請手続き等を行って順次復旧工事に着手し、繰越承認を得ながら来年度早期に復旧を計る予定。



避難所に整備されたエアコン

問 公共施設の熱中症対策は

連日「熱中症警報」が発令されたが、町内の公共施設のエアコンなどの空調設備の整備率は。

答 町長

公共施設の空調整備は、台数の違い等はあるがいずれも整備されている。

問 障害者の雇用実態は

障害者雇用促進法のもとに定められている法定雇用率は企業で2.0%から2.2%、国・自治体で2.3%から2.5%に、平成30年4月からそれぞれ引き上げられた。日南町役場と民間企業の雇用実態は。

答 町長

第二埋め立て団地も含めて利用構想を急ぐ必要があると考えるが。

問 第二団地の利用は

答 町長

現在、業者に事業計画書の提出を求めている。その提出をもって、地元説明会を開催、その後に、地権者のみなさんとの協議を行いたいと考えている。

問 木材団地の利用計画は

答 町長

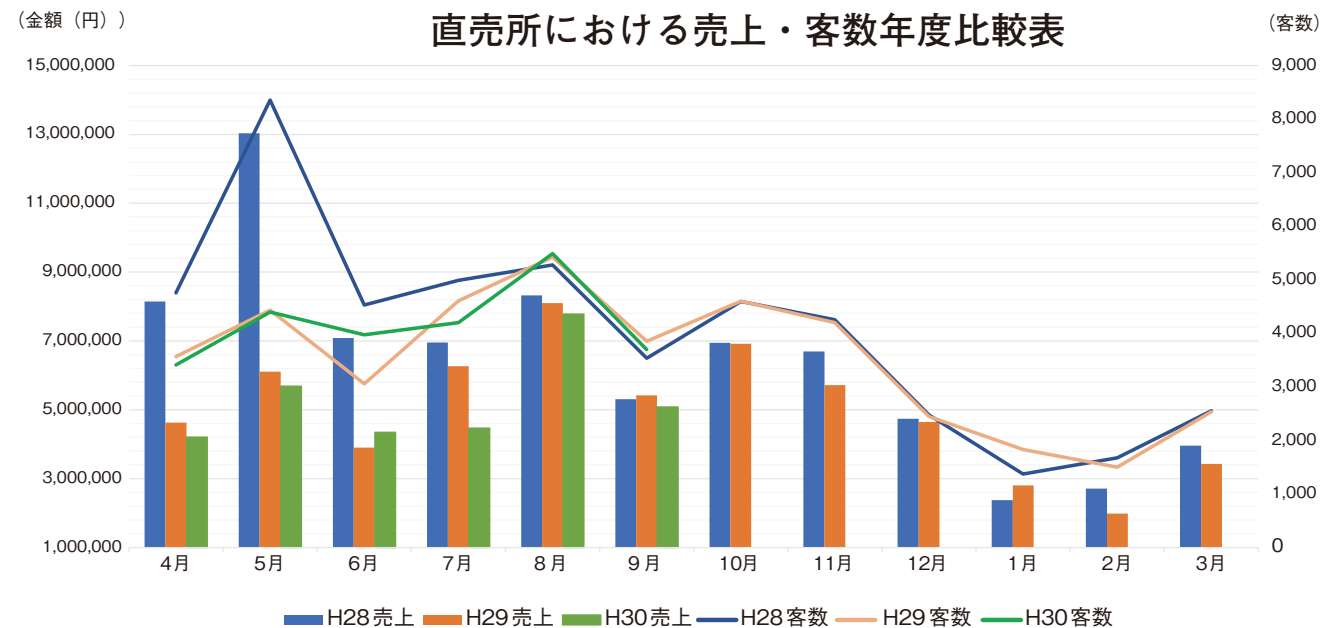
役場における障害者雇用において、平成29年度調査への回答に誤りがあり、労働局等に指導いただいたが今後修正を行う。民間企業分については、企業ごとに様々ときくが、平均値として2.43%（平成29年度）と聞いている。

中心地域整備に関する調査特別委員会報告

9月25日

道の駅にちなん日野川の郷の運営体制について (企画課・農林課)

販売状況及び来客数等について報告を受けた。



建築が進む日南町体育館の現地調査 (教育課)

町産材を活用した耐震性の高い体育館の
施工状況を調査した。



12月末の完成にむけて、着々と工事が進められていた。



各常任委員会活動報告

総務教育常任委員会

6月20日

新石見小水力発電所導水路等復旧工事 (住民課)

進捗状況について調査を行った。10月中旬の発電再開予定の報告を受けたが、1日も早く工事を完成して発電開始するよう要請した。

7月6日

福栄地域振興センターの建築 (企画課)

7月10日入札。遅くとも来年1月には完成予定との報告を受けた。

日南町住宅改修助成制度 (住民課)

本年度までの助成制度を3年間延長することを確認した。助成内容については再度検討する。

婚姻奨励事業の進捗状況 (教育課)

委託業者の選定等事業の進捗状況の報告を受けた。

9月19日

新石見小水力発電所復旧工事の進捗 (住民課)

10月中旬の発電再開予定の報告を受けた。

日南町住宅改修助成条例 (企画課)

助成額の上限を40万円までとし、工事費は20万円以上を対象として利用しやすい制度とするよう委員会での決定とした。

公共交通対策 (企画課)

来年度10月より新たなダイヤとする事、タクシー助成については年度初めから実施したい等説明を受け協議した。

経済福祉常任委員会

7月18日

意欲ある農業者支援事業 (農林課)

今年度末で失効する意欲ある農業者支援条例について、来年度以降の継続について検討。

にちなん中国山地林業アカデミー (農林課)

開校に向けてのカリキュラム、研修生募集等について準備状況を調査。

一般財団法人日南町産業振興センター (農林課)

6月にエネルギーにちなんからの名称変更と目的に林業アカデミーの運営を追加したとの報告を受けた。

9月19日

かすみ荘の今後の方針 (福祉保健課)

デイサービス業務をあかねの郷に移す方向。居住部門とホールヘルプセンター部門については検討中との報告を受けた。

日南町畜産センターの状況 (農林課)

新しく畜産センターで事業を開始する「みらいグローバルファーム鳥取事業所」が行う施設改修工事の状況、今後のスケジュール等について説明を受けた。

多面的機能支払交付金事業の広域組織化 (農林課)

町内37地域で活動されている多面的機能支払交付金事業の活動組織を町内一本化構想について説明を受けた。

議会広報常任委員会

8月7日

鳥取県町村議会広報研修会

住民に読まれる・伝わる議会広報の基本と編集について、県内各町村の広報誌の批評とアドバイスを受けながら研修した。

「生山支店を移転しないでください」

鳥取銀行へ要望しました

鳥取銀行生山支店移転の見直しを求める要望書

去る8月29日、鳥取銀行生山支店を根雨支店の店舗内に移転する店舗再整備の実施の発表がありました。しかし、「寝耳に水」であり、町民はもとより日南町議会も困惑しております。

ご承知のとおり、日南町は高齢化率が50%を超えており、現金自動預け払い機（ATM）の操作もままならず、窓口が廃止され機械での操作を余儀なくされることに大きな不安があります。また、窓口は振込め詐欺防止の役割もあり、高齢者が安心して預貯金をするためには対面での対応が必要であると考えます。

銀行業界の競争や経営は厳しく、経営改善の一環として理解できる面もありますが、商工業者をはじめとする地域経済への影響、安心安全な町民生活の維持などを考慮し、身近な地方銀行としての社会的責任を果たしていただきたい。

よって、日南町議会は株式会社鳥取銀行に対し、生山支店移転の決定の見直しをしていただき、日南町内での窓口業務の継続を強く要望します。

平成30年9月7日

鳥取県日野郡日南町議会

株式会社 鳥取銀行 頭取 平井 耕司 様
株式会社 鳥取銀行 生山支店長 吉澤 賢司 様



鳥取銀行生山支店へ要望書提出

鳥取銀行より、来年1月に生山での窓口業務を終了する意向が伝えられました。そこで、日南町議会では9月7日の本会議において、全会一致で要望書を可決し、生山支店へお願いに行きました。



閉鎖される鳥取銀行生山支店

鳥取銀行からの答えは
この要望に対し、9月27日、鳥取銀行の足立専務と生山支店の吉澤支店長が村上議長、福田副議長と面談され、町内での窓口業務の継続はできないという回答がありました。
日南町への渉外担当者2人を配置し利用者サービスに努めるとともに、窓口がなくなつて「出来なくなることを洗い出し、対応を検討する」ということでした。議長からは、店舗がなくなると必ず不便になる。しっかりと利用者のフォローを行って下さいと申し添え、約50分間の面談を終えました。

第5回臨時会

平成30年7月13日

議決したおもなもの

工事請負契約の締結

■福栄地域振興センター新築工事
8910万円（消費税込）
契約相手先（有）大生建設

■日南町デジタル防災行政無線（同報系・移動系）整備工事
3億7152万円（消費税込）
契約相手先（株）中国社

おもな補正予算

■賃貸住宅建設費利子補給
83万6千円

■7月豪雨災害測量設計費
6800万円



建築が進む福栄地域振興センター

第6回臨時会

平成30年8月16日

議決したおもなもの

おもな補正予算

福栄地域振興センター敷地斜面災害復旧費
750万円

工事請負契約の変更

福栄地域振興センター新築工事
449万8200円の増額
契約相手先（有）大生建設

議会活動報告

（7月）

1日 鳥取県消防協会消防ポンプ操法大会
4日 公聴会（議員報酬引き上げについて）
5日 議会広報常任委員会自治協議会との意見交換会
6日 総務教育常任委員会全員協議会
10日 西部町村議会議長会正・副議長、局長研修会（日南町）
12日

（8月）

1日 日南町戦没者追悼式
2～3日 議員研修（2人参加／滋賀県）
4日 にちなん中国山地林業アカデミー内覧会
7日 鳥取県町村議会広報研修会（委員／三朝町）
8日 福栄地域振興センター新築工事安全祈願祭
11日 あかねの郷夏まつり
15日 日南町成人式
16日 臨時議会
21日 西部町村議会議長会表彰式・研修会（江府町）
28日 あかねの郷施設法要
30日 議会運営委員会

（9月）

6日 9月定例会本会議（一般質問）
7日 9月定例会本会議
8日 あかり広場・にちなんつなでホーム内覧会
10日 9月定例会本会議
13日 臨時議会
18日 議会広報常任委員会
19日 経済福祉常任委員会
28日 議会広報常任委員会
28日 宣揚祭

平成30年行政視察受入状況

※議会に関する視察（2月14日以降）

■5月18日 鳥取県智頭町議会 議会運営委員会
議会改革に関する調査特別委員会の取り組みについて、タブレット端末導入の効果と今後の課題

■5月28日 宮城県丸森町議会 タブレットの導入による効果と課題について、森林整備と林産材の利用推進の取り組みについて

『歴史的資源を活用した観光まちづくり』

江府町山村開発センターにて西部町村議会議員研修会が8月21日に開催されました。
一般社団法人ノオト代表理事 金野幸雄氏の講演を聴き、兵庫県篠山市丸山集落での、古民家を活用したまちづくりの成功事例を学びました。

以上をコンセプトに、限界集落の空き家が無償で借り受けて宿泊施設に改装し、営業を開始した。1棟1組貸し切りで高額の利用料になっているが、利用客は多く採算が取れている。地元雇用も生まれ、宿泊体験して定住に繋がった例もあり、集落の人口が増えたり耕作放棄地の解消にもなっている。

- *日本にもヨーロッパのような「歴史地区」を創る。
- *空き家を宿泊施設、地場レストラン、クラフト工房等に活用。
- *内発型産業（修復、食文化、工芸、観光、IT等）を創造。
- *若者の地方回帰を実現。
- *歴史地区のネットワークを形成。
- *農山漁村の空間と暮らしを体験する広域観光圏を形成。
- *豊かな国土空間を創造。



日南町でも旧木下家をはじめとする古民家や歴史的資源があります。有効な活用方法について、まちづくりに繋がるよう考えて行かねばなりません。

中学生議会を開催します

日南町の将来を担う中学生に議員として出席してもらい、中学生の視点からの提案などをいただきます。
議会の様子は、ちゃんねる日南で生放送と録画放送を行います。是非、ご覧ください。

日時：平成30年11月14日（水）午後1時から
会場：日南町役場庁舎 議場
出席者：日南中学校2年生、3年生、町執行部、議員

『日野郡の少子化対策について』

日野郡3町の連携を深め日野郡の活性化促進に努めることを目的に、日野町役場にて日野郡町議会議員研修会が7月18日に開催されました。

越智浩明日野振興センター所長の基調講演の後、5つのグループに分かれて日野郡の少子化対策について議論を交わしました。

基調講演

日野郡の将来推計人口について説明があり、「人口減少により、高齢化が著しい中山間地域では、集落機能の維持、耕地や山林の管理が困難になるだろう。」鳥取県が取り組んでいる若者の移住定住や結婚から子育て環境の整備などの施策についての紹介があった。

グループ討議 でのおもな意見

孫ターンを

現実的にUターンは難しいので、孫ターンに取り組んだら。大学卒業後に地元に戻るような対策を。

働く場所づくり

・仕事の選択肢を増やす必要がある。
・島根県邑南町では、女性が好む仕事を増やすことで女性が増えている。

子育てしやすい町

・子育て支援を充実していくべき。
・子どもの遊び場を。
・子育て世代が求めているものは何か、一緒に検討する。
・教育費が大変なので対策を。

住宅整備

・島根県海士町の例を見ると、若い人に来てもらうには、リフォームではなく新築の必要があるのでは。
・一定期間を過ぎると自分のものになるという制度も必要。

受け入れる側の意識

・よそ者を受け入れる気持ちを持つ。
・Uターンで来られた方が地域で苦労しておられる。地域コミュニティを良くするために、できる限りのことをやるべき。
・地元に残る人をもっと大事にする。
・地域の魅力を見出して価値観を共有する。
・田舎暮らしの情報をどう伝えていくか。もっとアピールを。

教育委員会のあり方

・少子化に対応するために、三町で教育委員会の一本化をしては。
合併をしなくても広域連合的な考え方を進めるべき。

現在の町民が楽しく過ごせる環境を

・今住んでいる人が楽しく過ごせる環境が作り出せれば、楽しい町ができ人が集まってくるのではないか。

婚活事業

・親は前向きだが、本人は消極的。職場内、青年団のサークル活動など自然な形で出会いの場を作ることが必要。
江府町では地域おこし協力隊同士の結婚で定住の成果が出ている。

今回は、個々に意見を出し合うだけにとどまりましたが、同じ悩みを持つ町が互いに触発されて、解決策を見出すことができればと思います。

道どっこい、この町に生きる草



独立の言葉に惹かれ、

日南町でトマト就農

馬場 弘政さん（茶屋）
ひろまさ



日南町に来られたきっかけは

農業研修生一期生として日南に来て十年目になるけど、その前二年間はワーキングホリデーという制度でオーストラリアに渡り、農作業のバイトをしていました。

日本に帰り仕事探しをしていたら、「研修生募集」の広告をリクナビネクストのサイトで発見。時間も作業も自分の好きなようにできる農業には関心を持っていたし、体力には自信もあった。何より独立就農の独立と言う言葉に心が大きく動かされ、試験を受けたら受かったので来たという感じ。

トマト就農を選ばれたのは

研修の中で一人でやるには収入が安定して見込めるトマトがいいかなと、トマトは葉物栽培と違って育てながら収穫、世話をしながら収穫と世話をしている感じが楽しい。当初、桃太郎を反収8t取った周りの農家からも認められる数字だったのでそこを目指しました。お陰で二年目にギリギリ8tを

クリアし、五年目から品種をリン力に変更して2〜3割の増収になりました。

最近休みが欲しいと感じるようになってきた。かと言って丸々休むと時間を損した気分になり何か無理矢理にでもしてしまっ。

農業の魅力を感じる事は

長期の休みが取れるのは農業の魅力かな。11月には長期の休みが取れるのでこの三年は台湾、フィリピン、オーストラリアと海外旅行にでかけています。一年に一回は海外に行かないと損した気分になせられる。今年はファームイングの友達とオーストラリア行きの切符を手配済みです。

英語は話せなくても旅行は何とかなるけど、それでもせめて英語の勉強をした方がいいと考えてます。

研修生の先輩として何か

冬の仕事が一番かな。自分は除雪の仕事があるけど、夏と冬の仕事があればここに住みたい人は増える気がしますが、研修中の人もそこが一番不安では。

研修中も給料を貰い、就農時の設備にも補助金を貰い、その上に就農したら百五十万円貰える。その分頑張るのが義務と思う。

今後は

実家の母親にもこっちに来ないかと言ってはいるけど、七年前に一度来ただけで曖昧な返事でごまかされています。

自分としては母を呼び寄せ、日南町で骨を埋める覚悟で頑張りたい。



「未来を担う青年農林業者表彰」
H30.10.10

編集後記

今年も年明けから異常気象により大雪、地震、台風、そして連日の猛暑が続く、「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていたが、今年は「災害は休む間もなくやってくる」に変更です。

「秋の日はつるべ落とし」とか、日の暮れるのが早くなりました。残す所今年も2ヶ月余、来年4月には知事、県議会、町議会いわゆる統一地方選挙の年、続きに参議院選挙となりこの年末年始は各地で議員選挙の話題で賑やかにしてほしいと思います。

人口減少社会、高齢化率50.2%、交通対策、買い物難民等問題山積だと思えます。議員本来の町民と膝を交えて議論したり、より多くの皆さんと意見交換をする事でより良い町にしていけたらと思うこの頃……です。

福田 記

議会広報常任委員会

委員長 恵比奈礼子
副委員長 足羽 寛
委員 近藤 仁志
大西 保
古都 勝人
福田 稔